

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 受託開始日 2025年3月31日(月) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

| 項目コード | 検査項目 | 検体量 (mL) | 容器 | 保存 (安定性) | 所要日数 | 実施料判断料 | 検査方法 | 基準値 (単位) | 備考 |
|-------|-----------------------------------|------------------------|----------|----------|-------|--------|-------------------|----------|--|
| ☆ | 倫理指针对象 曜日指定 PGT-A 〔NGS法〕 | 栄養外胚葉 (TE細胞) 5~10細胞 | PGN (PT) | 凍結 | 15~18 | | 次世代シークエンス (NGS) 法 | | 重 受託可能日は月~木曜日です。 他項目との重複依頼は避けてください。 NGS法を用いて、TE細胞中染色体の数的あるいは構造の異常の判定を行います。判定対象種別は、正数胚、異数胚、モザイク胚です。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。検体採取方法については、「容器の取り扱い方法」を参照してください。 &V |

<結果判定> 検査結果は下記に基づき、A~D で判定いたします。

- A: 常染色体が正倍数性である胚
- B: 常染色体の数的あるいは構造的異常を有する細胞と常染色体が正倍数性細胞とのモザイクである胚
- C: 常染色体の異数性もしくは構造異常を有する胚
- D: 解析結果の判定が不能な胚 (品質基準値を満たさない)



● PGT-A〔NGS法〕

PGT-A（着床前胚染色体異数性検査）は、不妊治療における体外受精または顕微授精によって得られた胚から、栄養外胚葉細胞（TE細胞）を5～10細胞採取して、その染色体異数性を調べる検査です。

体外受精で胚移植可能となるまで十分に発育した胚を移植しても、妊娠しない、または流産する症例があります。移植可能な状態まで発育した胚の半数以上に染色体の数的異常が認められることが知られており、結果的に子宮に戻しても着床しない、または着床しても流産に至ることがあります。繰り返しの体外受精-胚移植（ART）は、患者やそのカップルにとって身体的、精神的、経済的、社会的負担があります。そのため、本検査によって胚の染色体数を子宮への移植前に評価し、着床・発育がより期待できる胚を移植することで、ARTの成功率を高め、流産の回避が期待されています。

▼疾患との関連

不妊症 不育症

▼検査要項

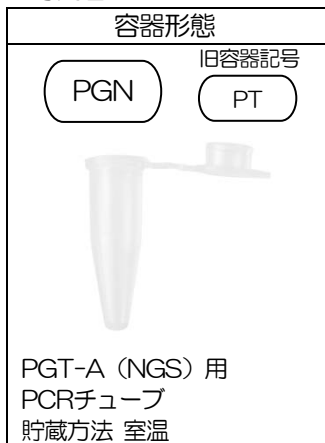
| | |
|---------|--|
| 検査項目名 | 倫理指針対象 曜日指定 PGT-A〔NGS法〕 |
| 項目コード | ☆ |
| 検体量 | 栄養外胚葉（TE細胞） 5～10細胞 |
| 容器 | PGN（PT） PGT-A（NGS）用 PCRチューブ |
| 保存方法 | 必ず凍結保存してください |
| 所要日数 | 15～18日 |
| 検査方法 | 次世代シーケンス（NGS）法 |
| 基準値（単位） | |
| 報告内容 | A～Dの4つのカテゴリー分類を用いて判定し、親展封筒にて報告します。 |
| 備考 | 重 受託可能日は月～木曜日です。他項目との重複依頼は避けてください。 NGS法を用いて、TE細胞中染色体の数的あるいは構造の異常の判定を行います。判定対象種別は、正数胚、異数胚、モザイク胚です。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 検体採取方法については、「容器の取り扱い方法」を参照してください。 &V（タカラバイオ株式会社） |

●PGT-A〔NGS法〕について

本検査は、日本産科婦人科学会よりPGT-A実施施設として承認された医療機関のみご依頼いただけます。また、本検査の受託に関して事前に契約をお願いいたします。本検査のご依頼に際しては、不妊症および不育症を対象とした着床前遺伝学的検査に関する見解を順守してください。

検査の依頼方法・限界等の詳細情報については、Web版SRL総合検査案内の補足情報をご参照ください。

▼専用容器



●対象患者

本検査は日本産科婦人科学会の不妊症および不育症を対象とした着床前遺伝学的検査に関する見解／細則に従い、ART 施設（医療機関）で確認された以下の患者様を対象とします。

- 反復する体外受精胚移植の不成功の既往を有する不妊症の夫婦。
- 反復する流死産の既往を有する不育症の夫婦。
- 夫婦いずれかの染色体構造異常（均衡型染色体転座など）が確認されている不育（もしくは不妊症）の夫婦。ただし、妊娠既往もしくは流死産既往の有無は問わない。

●検体の取扱い方法

提出容器に PGT-A 用検体保存溶液 2.5 μL をあらかじめ添加してください。添加後、スピンドウンにより保存溶液が 提出容器の底面にあることを確認してください。

培養受精卵（胚盤胞）から栄養外胚葉 5～10 細胞を提出容器に採取してください。採取した提出容器は PGT-A用チューブボックススタンド（24穴）に立ててください。詳細な検体の提出方法については、弊社営業員へお問い合わせください。

●参考文献

Vendrell X, et al : Syst Biol Reprod Med. 63 (3) : 162～178, 2017.（検査方法参考文献）
Sato T, et al : Hum Reprod. 34 (12) : 2340～2348, 2019.（臨床的意義参考文献）